

辺野古土砂北九州

発行…2022年5月号・No.30



今年の北九州のメーデーは、時折小雨の降る中開催されました。各団体からの発言で、辺野古土砂北九州は大きな横断幕を広げ、「沖縄島南部の土砂」と「南西諸島の危険な状態」について報告をさせていただきました。(写真提供:永野忠幸さん)

《目次》

【南西諸島】南西諸島の状況と新しい住民運動……………	2 ページ
沖縄県が係争処理委に申し出・全国総会 zoom に……………	5 ページ
【連続エッセイ】辺野古崎の悲しみ(浦島悦子)……………	6 ページ
【日米合同委員会】国会も関与できない「日米合同委員会」の存在……………	7 ページ
【声の欄・お知らせ・日程など】……………	10 ページ

写真 …永野忠幸・八記久美子・ネットから



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

今年「屈辱の日から 70 年」と「沖縄返還 50 周年」 南西諸島の状況と新しい住民運動

今から 70 年前の 1952 年 4 月 28 日は、サンフランシスコ講和条約で沖縄を日本から切り離し、米国支配下に置き去りにした「屈辱の日」。そして 2022 年 5 月 15 日は、沖縄返還 50 周年となります。この節目の年に、新しい住民運動が誕生しました。



サネン花(月桃)

■まずは南西諸島の現状から

最近「台湾有事」という言葉を頻繁に聞くようになりました。台湾と中国が戦闘状態になれば、台湾を支持しているアメリカと中国の戦争になり、日本も自動的にこの戦争に巻き込まれます。

これに備え、南西諸島(種子島・馬毛島～奄美～沖縄～与那国島までの琉球弧と呼ばれる島々)に自衛隊員が配備されますが、その数は、種子島と馬毛島 1000 人・奄美大島 600 人・沖縄島 8000 人・宮古島 800 人・石垣島 600 人・与那国島 200 人。あわせて 1 万人を超えます。

また、奄美・沖縄・宮古・石垣の 4 つの島には、ミサイル基地がつくられています。すでに弾薬を運び込んだ島もあります。戦闘となり、島からミサイルが発射されれば、島はすぐさま標的となり、住民は島の外に避難する余裕もないまま、ミサイルが降り注ぐ島の中で逃げ惑う事になります。

ある方は、「南西諸島が戦場になると、日本は恐怖の軍事国家に作り変えられる」と、語りました。

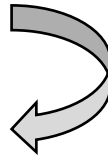
《沖縄の他にも》

1952(昭和 27)年 4 月 28 日、サンフランシスコ講和条約が発効した日、日本から引き離されたのは沖縄の他に、奄美諸島や小笠原諸島などがありました。

そして、奄美は 1953(昭和 28)年 12 月、小笠原諸島は 1968(昭和 43)年 6 月に、日本に復帰しました。



このような状況の中で、日本を再び戦争国家にしないために「ノーモア沖縄戦」の思いを全国に発信し、学習会などに取り組もうと、個人参加の一つの会が誕生しました。



それが

《ノーモア沖縄 命どう宝の会》です

■「ノーモア沖縄 命どう宝の会」とは

この3月、「ノーモア沖縄 命どう宝の会」という、個人参加の会が発足しました。『日本を再び戦争国家にしないために「ノーモア沖縄戦」の思いを全国に発信し、学習会などに取り組もう』という会です。

どういう会なの？



入会の方法は？



■チラシの裏面をご覧ください

同封のチラシの裏面に、申し込みの方法が記されています。賛同いただける方は、「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」に、直接申し込みをお願いします。

■ニュース等を読んでください

入会するとメール等を通じて、関連のニュースや会のお知らせが届きます。それを読んで、いろんなことを知っていただければと思います。あなたの心に残ったことを、ご家族や知人の方などに、伝えていただければ、それが戦争を食い止める大きな力になります。

入会して何をしたらいいの？



「ノーモア沖縄戦」で検索すると、HPが出てきます。その中で、いろいろなことを学ぶことができます。



《呼びかけ人のメッセージ》

■新垣邦雄(団体職員)

米軍機の飛行訓練が増えた。前泊博盛沖国大教授が言うように、戦闘機とは異なる航空機の飛行も目にする。かつてなかった光景だ。台湾有事に向けた米国民の避難のための離発着訓練ではないか。皮膚感覚が戦争の危機を訴える。米国はベトナム、湾岸、イラク、アフガンと、計画した戦争を実行してきた。次の戦争は沖縄を戦場と想定している。

初孫の写メを見るたび、やるせない思いになる。子孫、これから生まれる子どもたちのために、戦争計画を止めるしかない。

■ダグラス・ラミス(国際政治学者・元海兵隊員)

もし「台湾有事」が始まると、鹿児島県南部から沖縄県までの住民は戦争に巻き込まれるだろう、と日米両政府の2プラス2が発言した。なるほど。日米が中国と戦争したとしても、その戦争の暴力を鹿児島県・沖縄県内に制限できると思込んでいるのだろうか。日本本土の皆さん、だまされないで！司令部は東京の横田基地にある。日本国内のどこまでも広がりそうな戦争と一切協力ししないで、我々と一緒に止めましょう。ヌチドゥ、タカラ。

■与那覇恵子(名桜大学非常勤講師)

10年前から沖縄戦を体験した方達が「戦前に酷似している」と警告してきたにも関わらず、安倍政治が支配する日本は、ついに彼らの目標である「戦争のできる国」に作り替えられてしまった。米国隷属の宿痾から抜け出せない日本は、安倍元首相の号令一下、米国の代理戦争、日中戦争の準備を整えた沖縄(南西諸島)を再び戦場にする。

奇しくも復帰50周年、自らの命を守るため、沖縄は怒りを力に変え日米政府に一丸となって抵抗する。命ドゥ宝!

※会の設立
呼びかけ人は21人
ですが、その中から
3人の方の
メッセージを
ご紹介しました。

是非ご覧ください

【LIVE】「ノーモア沖縄戦 命(ぬち)どう宝の会」発足集会

「台湾有事」の平和的解決を～あなたと未来の命を守るために～

2022/03/19 に
ライブ配信

発足総会の様子をユーチューブで見ることができます。とくに、休憩時間(開始前にも若干あり)に流された、「南西諸島の軍事配備問題を考えるアニメーション(製作アニメード)」を見ると、今の南西諸島の状況がすぐわかります。

沖縄県「係争処理委」に申し出

沖縄県は5月9日、米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古移設を巡り、県による防衛省の設計変更申請不承認処分を、国土交通相が取り消した採決を不服として、総務省の第三者機関「国地方係争処理委員会」に審査を申し出た。総務省は受理した。玉城デニー知事は「係争処理委には、中立・公正な審査をお願いしたい」とするコメントを発表した。

審査期限は90日以内で、係争処理委は8月8日までに判断する。県の主張が

認められなかった場合、法廷闘争に進む可能性もある。2019年、県が埋め立て承認撤回を取り消す国の採決を違法として審査を申し出た際は「審査対象に該当しない」として却下された。

玉城氏は「国交相の採決は無効で、違法な国の関与に該当する」と強調。国交相は内閣の一員で辺野古移設推進の立場なのに、不承認の採決と同時に県に承認勧告を出すなど、審査庁としての地位を著しく乱用していることなどを理由とした。

(新聞から転載)

《土砂全協第9回総会 in 鹿児島》は コロナ感染拡大のため オンライン(zoom)で行う事になりました

オンライン総会の参加申し込みは、以下の通りです
(あなたのパソコンにzoomがインストールされていないと参加できません)

■日 時…5月28日(土)13:00~16:00 ※入室は12:30からできます

■開催方法…zoom開催

■申し込み…下記アドレスに申し込みをして下さい。申込期間は5月16日(月)~5月24日(火)です。5月25日(水)に《招待》のメールを送信します。

■申し込みアドレス…kenheiwa@bronze.ocn.ne.jp

※5月25日(水)の夜までに

《招待》のメールが届かない方は、
電話 080-2696-4485(鹿児島・磨島)
まで、ご一報ください。

ご注意…これは全国の総会で、「辺野古土砂ストップ北九州」の総会ではありません。

辺野古崎の悲しみ

ヘリ基地いらぬ二見以北十区の会共同代表／フリーライター



辺野古新基地着工（正確には埋立のための護岸工事着工）5周年となる4月25日、ヘリ基地反対協主催による海上抗議集会が行われた。カヌー32艇と抗議船6隻（他にマスコミ船2隻）が参加し、私も抗議船に乗って久しぶりに海に出た。

海上集会の場所は、最初に作られたK9護岸の前。護岸は、船で大浦湾に運ばれてくる埋立土砂を陸揚げする栈橋として使われている。赤土まじりの土砂を大量に積んだ台船上で重機のアームが動き、ダンプがひっきりなしに行き来する。護岸の前に張られたフロートにカヌーや抗議船が近づくと、フロートの内側にいる海上保安庁のゴムボートから「立ち入り禁止区域です。出てください」と「警告」が繰り返される。山が削られブルーシートで覆われている。沿岸域のあまりの様変わりにショックを受けた。

ふと後ろに目をやると、辺野古崎の断崖が目の前だ。「嘉陽層」と呼ばれ、地球の生成の歴史を物語る地層の見事な重なり（「ミルフィーユ」に例える人もいる）が見える。『辺野古誌』は、「沿岸の白い砂浜と二見境まで続く急な海岸、その崖の斜面に生えた琉球松や崖上の緑地はのどかな自然景観で、紺碧の大浦湾に映え」と、その美しさを讃えている。海が、自

然が、美しければ美しいほど、悲しみが込み上げる。こんなにも美しく、恵み豊かな自然を破壊して戦争のための基地を造ろうとしている人間の愚かさが耐えがたい。

ここ辺野古崎は、沖縄戦のとき、上陸してきた米軍が岬の先端部の平坦地（新基地計画では、埋立地とともに滑走路の一部となる）に部隊を置き、背後の丘陵地に民間人収容所（「大浦崎収容所」と呼ばれた）を置いた場所だ。本部半島（本部町、今帰仁村）の住民及び、本部半島に疎開していた伊江島の住民が根こそぎ、米軍のトラックに詰め込まれてここに運ばれ、約2万5千人が半年間の収容所暮らしを強いられた（伊江島住民はさらに1年半、帰郷を許されなかった）。

収容所と言っても、自分たちで作った粗末な掘っ立て小屋。食糧も乏しく、栄養失調やマラリアでお年寄りや子どもたちが次々と倒れ、400~500人が亡くなったと言われる。その仮墓地だったのがこの断崖の上だ。

いま、本部半島から運ばれてくる埋立土砂が辺野古崎との因縁だとしたら、あまりにも切ない。本部の山も、辺野古・大浦湾の海も、これ以上壊してはならない!!
(うらしまえつこ)

連続学習会…第8回報告

テキスト…「日米合同委員会」の研究(吉田敏浩著、創元社)



日本の領土・領海・領空の一部を外国の軍隊に提供するのに 国会も関与できない「日米合同委員会」の存在

今回は、1952年に合意されたいわゆる民事裁判権密約の存在と、その密約があることにより実際の民事事件(横浜市米軍機墜落事故、横須賀市米兵強盗殺人事件)で真相究明が阻まれていること、テキストの筆者(吉田氏)が裁判権密約に関する文書の開示請求を行い、これを外務省が拒否し、内閣府設置の諮問機関の諮問を受けても、なお開示しないことを学びました。講師…天久泰(弁護士)

今回は、
テキストの
255～288頁までを
勉強しました。



以下、その内容
の要約です。

■年間 270 日!?…富士演習場、米軍の優先使用権密約とは

富士演習場は、1968年と1973年に米軍から返還され、自衛隊管理下の米軍・自衛隊の共同使用になった東富士演習場(静岡県)と北富士演習場(山梨県)を合わせた演習場です。

1970年1月のアメリカ議会の「日本と沖縄」に関する聴聞会議事録から、富士演習場について米軍の優先使用権を認める密約があることが分かりました。議事録には、「在日米軍は毎年270日使用する権利を有している。1969年には、そのうち68パーセントにあたる184日使用した」と書かれていたのです。

1950年代に演習場内に民有地や入会

権を有する地元の農民を中心に、演習場の全面返還を求める運動が広がっていたため、日本政府は米軍基地反対運動の矛先をかわすために、演習場を日本側の管理に移したうえで、優先使用権密約を結び、自衛隊と米軍とが共同で使い続けようと考えたのです。年間270日と、米軍の使用期間の方が長ければ、返還されても意味がありません。

■非公開の了解合意覚書

1968年7月18日の日米合同委員会で、富士演習場の返還協定調印式が行われましたが、公表されたのは演習場を米軍キャンプを除き自衛隊の管轄とすること、核兵器、毒ガス、500キロを超え

る爆発物は使用しないこと、地元住民の立ち入りが認められることなどを含む返還協定本文のみで、協定に付属し、優先使用権を定めた「了解合意覚書」の公表ないし報道はありませんでした。

日本側が細部にわたる日米合意が外に漏れるのを恐れ、返還協定本文とは別に了解合意覚書を付属文書にする形式をとったのです。

■米軍の要求が優先される日米合同委員会

このような協定全体について、当時の米軍内部では、「協定案の文言と内容はほとんど全部、アメリカ側代表の提案通りである。在日米軍は訓練スケジュール取り決めて、われわれが当初想定していた以上の大きな融通の余地と米軍の使用率を獲得できた」と評価されています。

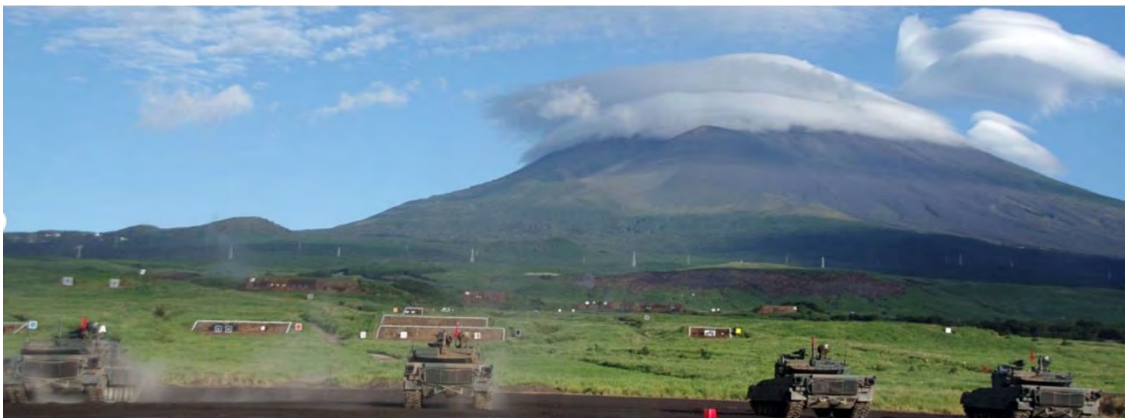
米太平洋軍総司令部は太平洋・アジア・インド洋地域における米軍の戦略に合致する視点から政策を立て、日米合同委員会での協議と合意がアメリカ側に

有利になるように、必要な指令も出しています。日米合同委員会のアメリカ側議題はメモランダム(覚書)として提出されますが、そのメモランダムは、在日米軍、米太平洋軍、アメリカ統合参謀本部の戦略・政策に基づいた軍事的視点からの要求が反映されているのです。富士演習場返還協定をはじめとする協定にはそのような要求がもちろん反映されています。

表向きは演習場を返還し、日本側の管理に委ねながら、実際は軍事的必要性を満たす優先使用権を裏で確保するという実利を米軍は得たのです。しかも、米軍の演習中は日米地位協定第3条に定める排他的管理権が認められるため、事実上の治外法権まで認められています。

■日米共同使用で、管理維持費・建設費・移動経費など日本側に負担させ

東富士演習場のように自衛隊管理下で米軍が一定期間を限って使用する日米共同使用の基地・演習場が、1980年代



東富士演習場の写真(防衛省 HP から)

以降増えていきました。2015年3月の時点で全国に49カ所あり、総面積は約718平方キロに及びます。1980年頃の総面積の2倍以上の増加です。

このような共同使用は基地反対運動をかわす効果のほか、基地・演習場の管理維持費、新施設の建設費、訓練移転での移動経費などを日本側に負担させるという大きなメリットがアメリカ側にあります。また、米軍主導の日米軍事一体化を促進させる効果もあります。

■国会を関与させない密室での合意

個々の米軍基地や演習場については、個別の協定が締結され、それは「政府間合意」にあたりと解釈されています。締結された協定は閣議決定を経て、「施設・区域」に関する日米共通の「附表」の改正という手続がとられます。「附表」とは、1952年7月26日に日米合同委員会で署名された「日米施設協定」にある米軍に提供される「施設・区域」の一覧表のことです。

ここで注目すべきなのは、日本の領土・領海・領空の一部を「施設・区域」として外国の軍隊に提供するという、国家主権に関わる重大な決定を「国権の最高機関」である国会が関与できない日米合同委員会の密室での協議にまかせていいのかという点です。それは憲法の国民主権の原理に反しています。

このような重大な決定を行う政府間協定は、国際協定であり、広い意味での

条約の一種と考えられます。したがって、本来なら国会に詳細な情報提供がなされ、そこで主権者の代表である国会議員により審議された上で、承認、不承認を決めるという民主主義にふさわしい手続を踏むべきなのです。

■密約根拠に100カ所以上公表されず

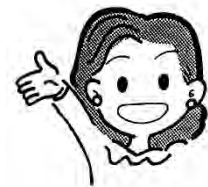
「刑事部会合意事項」の中には、「その軍事的性質により、特定の施設又は区域は公表する一覧表の中に含めない」と書かれています。これは外務省ホームページでも公表されていた「刑事裁判管轄権に関する事項」からも抜け落ちており、その代わりに「区域又は施設の一覧表及び法律上の記述は出来る限り日本国の官報及び合衆国軍隊の公刊物に公表する」と意図的に書き換えられています。

この密約を根拠に、上瀬谷通信施設(神奈川県)など、レーダーを含む通信施設とC I C(米軍特別情報部)関係施設が100カ所以上が公表されていませんでした。(あめくやすし)

【学習会・今後の予定】

日米合同委員会の連続学習会は、5月14日(土)の第9回が最後になります。

この回の学習のまとめを6月号に掲載して、連続学習会第2弾「日米合同委員会」は、終了します。





《声の欄》

会報の感想・辺野古に関する思い・ご自分のこと等々、お気軽にあなたの声をお寄せ下さい。字数は250字以内(必ずあなたのお名前と連絡先をご記入下さい)。送り先は、最終ページ記載のメールアドレスか住所。毎月「最後の水曜日までに届いた原稿」については、翌月の会報に掲載できると思います。

「基地問題は日本政府の問題」 三上監督の言葉に同感

今年の3月、西日本新聞に三上智恵監督の800字ほどの記事が載りました。その中に「基地問題とは事件、事故や騒音、環境汚染など米軍の横暴な振る舞いが引き起こすものだと思っていたが、そうではないと気付いた。それを許している日本政府の問題だ」という言葉がありました。なるほど…同感です。

(北九州市小倉北区・田中球子)

秋までお預け

夫が、兄夫婦や妹と一緒に故郷をたずね、懐かしい人たちと会う旅行を計画していた。関西在住の義兄にとっては「故郷をたずねる最後の旅」のはずだった。

ところが、出発の前日に義姉が階段から落ちて背骨を圧迫骨折し、旅行は突然中止となった。

みんな楽しみにしていたのに、秋までお預けになった。秋にはみんなで故郷の懐かしい人たちに会えますように。

(北九州市小倉北区 みんな70代)

こんな国会質問が… 官僚は総理<米軍なの？

ネットで検索中に、おもしろいものを見つけました。2012年の浅野貴博衆議院議員(自民・当時)の国会質問です。

浅野氏はその中で、当時の鳩山由紀夫総理の「防衛、外務官僚はいかに辺野古に戻すかに腐心していた。県外移設はおかしいと、むしろ米側を通して辺野古でない駄目だという理屈を導いたようだ…」という言葉を紹介しています。

私も県外移設問題で、鳩山元総理が「徳之島移設の話は絶対に口外しないようにと言ったのに、翌日の夕刊にはこのことが載った。官僚たちは自分ではなく、他の誰かに忠誠を誓っている」と言ったのを印象深く覚えています。

国会<日米合同委員会

憲法<日米地位協定

を、今回も実感しました。

(北九州市門司区 Kちゃん)

名護共同センターが 7年間のたたかいをDVDに

一昨年のコロナ感染拡大から、沖縄を訪れることは出来ていませんが、以前、辺野古土砂北九州が数名で沖縄を訪問した時には、名護共同センターのみなさんに、学習会を開いてもらったり、初めて行く場所の案内をお願いしたり、大変お世話になっていました。

その名護共同センターが、これまでのたたかいのニュースをDVDにまとめました。



スタッフの皆さん



名護共同センターの具志堅徹さん

頒価 2,000 円(送料込) 電話 0980-54-8555

申し込みはこちらまで

名護共同センターニュースの創刊号から 382 号までのデータを1枚のDVDに収録し、4月 20 日以降に販売することになりました。米軍キャンプ・シュワブゲート前の座り込み、抗議船とカヌーチームの海上行動、安和・塩川港での抗議行動、各地島ぐるみのスタンディングなど時々のたたかいを報道した記録集です。

この間のたたかいを全国に発信してきた共同センターの役割は大きかったと思います。この貴重な記録を県内外の多くの人々と共有することは、当面の闘いへのエネルギーになるものと確信しています。検索機能もあり便利です。

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 5月11日(水)…《会報・発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 5月13日(金)…《土砂全協総会議案・発送作業》14時～
生涯学習総合センター・31会議室
- 5月14日(土)…《天久学習会「日米合同委員会」第9回学習会》
10時20分～11時50分 zoomにて
- 5月25日(水)…《世話人会》14時～ zoomにて
- 5月26日(木)…《小倉駅街頭宣伝》16時～
※土曜日は「土砂全協の総会」が開催されるため、今月は木曜日に行います。
- 5月28日(土)…《土砂全協第9回総会・zoom》13時～16時
- 6月01日(水)…《会報・発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・21会議室

「松元ヒロ」ソロライブ

会場…ウエルとばた大ホール
日時…6月4日(土)14時から
(開場は13時)

大会が実行委員会から預かったチケットは完売しました。ご協力ありがとうございました。



ウクライナ避難民カンパ 10万円

ウクライナ避難民へのカンパは、いろんな所で出来るので、当会として特別取り組みをしていませんでした。ところが、会員さんからカンパが届きましたので、前回に引き続き、ユニセフにお届けしました。貴重なカンパ、ありがとうございました。

《辺野古土砂ストップ北九州の口座》



【辺野古土砂ストップ北九州の口座は】

ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」※以前の名前の振込用紙も使えます

声の欄の
原稿の
送り先

《辺野古土砂ストップ北九州》

kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

世話人
連絡先

発行 2022年5月11日

発足！

ノーモア沖縄戦 ^{ぬち} 命どう宝の会

「島々をふたたび戦場にさせない」——皆さまのご賛同を広く呼びかけます

平和を望む全国の声を集め、戦争への道をストップ！

ご賛同、ご支援を呼びかけます

<https://nomore-okinawasen.org>

77年前、筆舌に尽くせぬ戦禍を被った沖縄にふたたび戦争の危機が迫っています。中台間の緊張を煽る日米政府は与那国、石垣、宮古、沖縄、奄美、馬毛島の島々にミサイル基地や自衛隊駐屯基地を配備し、「台湾有事」を口実に戦争準備へと突き進んでいます。軍事力強化は国家間の緊張感を高めるばかりで、ひとたび衝突が起こり紛争がエスカレートすれば、真っ先に標的にされるのは、これらの島々であり、特に台湾に近い与那国、石垣、宮古島などの「先島諸島」に戦火が及ぶのは火を見るよりも明らかです。

こうした状況の中、危機感を抱いた沖縄のジャーナリスト、学者、文化芸能関係者、平和活動家などが一堂に会し、全国に向けて声明を発しました。ぜひ、ご賛同、ご支援をよろしくお願いいたします。数千数万の力を結集し、政府に対し外交的努力による平和的解決を求めていきます。ぜひ、ごいっしょに戦争への道をストップさせましょう！

上記ウェブサイトにある同会発足の趣意書をご覧の上、呼びかけ人または賛同人になっていただければ幸いです。カンパご支援は一口500円からお願いしています。

Fax、郵送でも受け付けます。裏面用紙にご記入の上、お送りください。(送付先) 〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2丁目105-18 Fax:0980-55-2245(仮・沖縄平和サポート)

【ゆうちょ銀行】記号:17040 番号:01742091 名義:アラカキヒトミ

【ゆうちょ銀行以外から振込みされる場合】店名:七〇八(ナナゼロハチ) 店番:708 預金種目:普通預金 口座番号:0174209 名義 アラカキヒトミ(会計担当)

ノーモア沖縄戦 命どう宝の会

メール: info@nomore-okinawasen.org

<共同代表>

石原昌家、具志堅隆松、ダグラス・ラミス、宮城晴美、山城博治

<会設立呼びかけ人>

新川明(沖縄タイムス元社長)、高嶺朝一(琉球新報元社長)、石原昌家(沖縄国際大学名誉教授・沖縄戦史)、桜井国俊(沖縄大学元学長・環境)、ダグラス・ラミス(国際政治学・元海兵隊員)、前泊博盛(沖縄国際大学教授)、木村朗(鹿児島大学名誉教授)、伊佐眞一(沖縄近現代史家)、大城貞俊(作家)、宮城恵美子(元琉球大学教員)、与那覇恵子(名桜大学非常勤講師)、具志堅隆松(遺骨収集ボランティア)、平良啓子(対馬丸語り部)、謝花悦子(伊江島反戦平和資料館館長)、宮城晴美(沖縄女性史家)、三上智恵(映画監督・ジャーナリスト)、山城博治(平和運動家)、與那覇有羽(民具作家)、新垣仁美(若者メンバー)、小波津義嵩(若者メンバー)、新垣邦雄(団体職員)



賛同フォーム（FAX、郵送用）

ネットができる方はできるだけネットでお願いします

※ 5人以上ご記入の場合は、この用紙をコピーしてお使いください。

■ 賛同していただいた方には今後、メール等を通じて関連ニュースや会のお知らせをお送りします。

■ ご記入の際には「賛同者」、「呼びかけ人」のいずれかを選んでください。

・ 賛同者 : 会の趣旨にご賛同いただける方。

・ 呼びかけ人 : 賛同者のうち、お名前を出して、会の活動を拓げるために積極的に呼びかけを行っていただける方。（お名前を「呼びかけ人リスト」に掲載いたします）

記入日：2022年 月 日

お名前	ご住所（沖縄の方は市町村まで、沖縄県外・国外の方は県名・国名だけをご記入をください）	年齢	どちらかを選んでください。
		代	賛同者・呼びかけ人
		代	賛同者・呼びかけ人
		代	賛同者・呼びかけ人
		代	賛同者・呼びかけ人
		代	賛同者・呼びかけ人

※ 「呼びかけ人」を選ばれた方は、よろしければ肩書きをご記入ください（20字程度まで）

お名前 _____ 肩書 _____

お名前 _____ 肩書 _____

お名前 _____ 肩書 _____

お名前 _____ 肩書 _____

お名前 _____ 肩書 _____

応援メッセージ、会の活動で期待することなど、ご意見がありましたらお寄せください。

◇ご支援のお願い◇

「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」では、当会の活動を拓げていくためにも、一口500円からの積極的なご支援を募っております。ご理解、ご支援のほどよろしく申し上げます。

【口座情報】【ゆうちょ銀行】記号：17040 番号：01742091 名義：アラカキヒトミ（会計担当）

【ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込みされる場合】店名：七〇八（ナナゼロハチ）店番：708

預金種目：普通預金 口座番号：0174209 名義：アラカキヒトミ（会計担当）

※領収証の必要な方は住所・氏名も併記してください

〈賛同用紙送付先〉

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2丁目105-18

ノーモア沖縄戦 命どう宝の会

Fax：0980-55-2245（仮） Email：info@nomore-okinawasen.org